



No.438
1996年1月26日

THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Theme of Rotary International 1995-96

Act with Integrity
Serve with Love
Work for Peace

真心の行動 ● 慈愛の奉仕 ● 平和に挺身
1995～96年度・国際ロータリーのテーマ／ハーバードG.ブラウンR.I.会長

●本日の例会

1月28日／第447回例会

■卓話「古民家の移築再生」

ハウスオブアンティックス(株)代表取締役 滝下嘉弘氏

■第4回クラブ協議会 (例会後13:40～15:15)

テーマ「青少年交換学生とホームステイ」「上半期四大奉仕委員会・SAA活動報告」

●先週報告

1月19日／第446回例会

■卓話「青少年交換の実情と課題」

当クラブ会員・地区青少年交換副委員長 四分一勝君

■幹事報告

- ① 2月16日開催予定の第2回クラブフォーラムは中止させていただきます。
- ② 次週例会後、第4回クラブ協議会を開催いたします。ご出席をお願い申し上げます。
また「各委員会上半期活動報告と下半期活動計画書」未提出の各委員会委員長の方、至急事務局へ提出下さいますようお願い申し上げます。

■国際奉仕委員会報告 (渡部副委員長)

地区世界社会奉仕委員会主催「チャリティーコンサート」(2月23日 虎ノ門ホールにて開催)のチケットは完売いたしました。ご協力ありがとうございました。
なお、追加購入のご希望の方は当委員会までお申し出下さい。

■ロータリー情報委員会報告 (青野副委員長)

- ① 新会員座談会のお知らせ
新会員の方々に会員の特典と責務をご理解いただくため、1月30日午後4時～7時アーケヒルズクラブにてVTRによる情報提供と会食を予定しています。是非ご出席下さい。
- ② ロータリー情報委員会(炉辺会合)の開催について
創立10周年を迎えるに当たり、入会3年未満の会員を対象として、クラブ活動をより良く理解するために炉辺会合を2グループに分けて開きます。ご都合の良い日を1月26日までにお知らせ下さい。
1) 日 時 平成8年2月20日又は26日 午後6時～8時
2) 場 所 アークヒルズクラブ(レインボールーム)
3) テーマ クラブ活動をより良く理解するために

■慶事披露 ● 100%出席／関 征春君(1年)

■出席報告 ● 会員70名・出席55名・欠席15名(出席規程免除者1名)

ビジター(6名 敬称略)／赤澤庄三(大阪北)、佐々木昌平(東京世田谷南)、
牟田口道夫、椎津忠三(以上東京中央)、鈴木治己、赤浦 修(以上東京南)
ゲ ス ト 宮川弘信氏(四分一会員ゲスト)

ニコニコBOX

順不同・敬称略

1月19日／11件 34,000円
95～96年度累計 1,361,000円
多額のご寄付を有難うございました。

四分一勝／9年間の皆出席、健康だったからだだと喜んでいました。小杉眞史／初めて火曜会に出席、泥沼に入りそうでありました。ありがとうございました。渡部一元／佐藤さん長い間レイチェルありがとうございました。後藤さんこれから宜しくお願いします。後藤信夫／佐藤さんご苦労さまでした。確かにレイチェルをひきうけました。岩瀬秀郎、梶内滋男、高須康有／以上 本年もよろしく。川鍋二郎、鈴木重徳、西澤正雄、谷村義雄／その他紙面の都合上コメントを一部省略させていただきました。

●次週予告

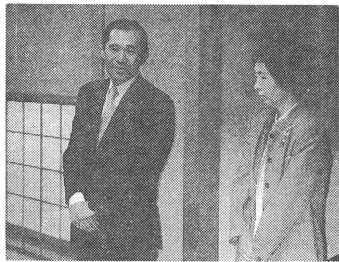
2月2日／第448回例会

■卓話予定「国際文化交流の現状と課題」

財団法人国際文化会館・常務理事 加藤幹雄氏

■新会員からのメッセージ

村山 公士 (95年6月23日入会 職業分類/各種専門学校)

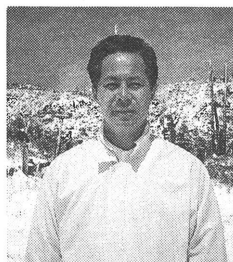


6月23日に本クラブに入会させていただきましたから、はや6カ月がたちました。本当にあっという間に過ぎたように思います。私の周囲にはロータリアンがかなりおりまして、その関係で会員になる前からある

程度はロータリーに関する知識を持っていたつもりです。ところがいざ会員になってみますと、その程度の知識ではあまり役に立たないことが良く分かりました。委員会や会議や作業が実に沢山あって、皆さんが本当に精力的に活動されていることに驚かされました。果たして、自分にこのような仕事ができ、会のお役にたてるのだろうかといささか不安にもなったものです。それと、毎週の例会。仕事との折り合いをつけて、欠かさず出席するのは思ったより大変なこともわかりました。しかし、先輩の皆様方が私たち新会員に何かと親切なお声をかけてくれますので、多少は自信もついて参りました。

何度か新会員を対象にした研修会、勉強会に参加させていただいたお陰で、ロータリーの目的や仕組みについても、少しは分かってきたような気が致します。また、新会員歓迎会も何度か開いていただきましたので、大分メンバーの皆様のお名前とお顔とが一致するようになりました。ほかではこれほどまで充実したプログラムは用意されていないと聞きまして、このクラブではこんなにも我々が大事にしているのだなということをつくづく感じました。先日も初めてニコニコBOXを担当しましたところ、私の激励のためにということで、何人かの方からご寄付をいただきました。本当に勇気づけられる思いがしました。このような皆様の期待にも応えるためにも一刻も早く会に慣れて少しでもお役にたてるようにがんばりたいと思います。

世良 和信 (95年7月21日入会 職業分類/弁理士・商標)



山川政樹さんのご推薦により95年7月に入会させて頂きました。

私の先輩にも数多くのロータリアンが居らっしゃり、以前よりロータリーの活動を折々耳にはしてはいましたが、年齢や社会的地位等の関係からして私には無縁の別世界のことと思って居りました。最近、私と年齢的にも近い同業の何人かがロータリーの他クラブに入会し活躍していることを知り、永らくお声をかけて下さっていた山川会長と同じ東京新南に入会させて頂きました。

入会後未だ月日が浅いため、当クラブの活動の全体像が良く判りませんが、優先課題としては、これまでの生活の中心軸をロータリー寄りに修正し、出来る限り多くの例会や各種の催しものに参加して旧会員の方々のお人柄に接することだと思っています。

入会後の催しものの中で特に印象に残っていますことは、10月17日(火)に南青山で開催されました「新会員歓迎会」に出席させていただいた際に、多くの方々と歓談できる機会にめぐまれ、ロータリーの親睦の真の姿を垣間見た気がします。ロータリアンの思いやり、親しみに接し深く深く感謝致して居ります。

ロータリーでいう職業奉仕を当初は良く理解できず、未だ世間に余り知られていない弁理士という職業を通じて果たしてどれだけ世間一般に貢献できるのか不安に感じて居りましたが、入会後の講習等を通じて職業奉仕の意味するところがおぼろげながらも見えてきたような気がします。まずは、自分の身近な場所において、「真心の行動」、「慈愛の奉仕」、「平和に挺身」を実践することだと。そして、順次、実践範囲を広げて行けばよいのだと。

団塊の世代の一人として、現在、社会的に微妙な立場に立たされていますが、社会的使命を自覚しつつ、良きロータリアンとして、自分の経験を生かしたボランティア活動をして行けばと存じます。今後とも、末永くご指導頂けますよう茲にお願い申し上げます。

■'96年度国際大会

- 1)開催地：カナダ/カルガリー
- 2)開催期間：6月23日(日)～6月26日(水)
- 3)大会本部ホテル：DELTA BOW VALLEY, RADISSON HOTEL, PALISER HOTEL, WESTIN HOTEL
- 4)開会式：6月23日(日)
CALCARY CANADIAN AIRLINES SADDLEDOME
(1回目) 16:00～18:30
(2回目) 20:00～22:30
- 5)閉会式：6月26日(水)
18:30～20:00または19:00～20:30
CALCARY CANADIAN AIRLINES SADDLEDOME
- 6)登録料：ロータリアンと婦人(婦人割引)
3月15日まで…US\$ 295 (お二人につき)
3月16日以降および現地登録
……US\$ 325 (お二人につき)

プログラム予定(抜粋)

- 6月23日(日)：開会式(一回目)……(於 サドルドーム)
開会式(二回目)……(於 サドルドーム)
- 6月24日(月)：二日目総会
“博愛主義者奉仕”プロジェクト発表会
昼食会(会長のあいさつ)
家族と社会のテーマ別会議
ホームホスピタリティ
- 6月25日(火)：三日目総会
“博愛主義者奉仕”プロジェクト発表会
RI元役員のための会長懇親昼食会
家族仲間のイベント……(於 スタンビート)
- 6月26日(水)：四日目総会
“博愛主義者奉仕”プロジェクト発表会
ロータリー・テーマ別会議
閉会式……(於 サドルドーム)

東京新南ロータリークラブ

会長：山川政樹 副会長：柴藤清三郎 幹事：関 征春
〒107 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階
TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日 12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

〈会報委員〉

荒木 昭文、清原 元輔、青野 信次、
植田 和男、後藤 信夫、新保 國彦、
相澤 成憲、吉田 用親、高橋 良士、
吉岡 琢磨、大村 富俊(編集担当順)